

# 富山県邦楽協会会報

第202号

令和7年12月19日発行  
富山県邦楽協会  
会長 河崎 雅都美  
高岡市本丸町4番22号

## 令和七年度指導者招へい講習会

七月十三日越中座にて、「とやまアーティストマツチング事業」のワークショップとして難波竹山先生の指導者招へい講習会が、総勢五十三名参加して開催されました。

午前中は尺八のみで先生作曲の「秋のころ」、午後は箏と尺八の合奏で「音と光と海と」に取り組みました。



「上達が早い」とお褒めの言葉をいただきました。第二回の十二月七日は曲を変えて指導を受けることになりました。尺八では先生作曲の独奏曲「夢の矛盾」を講習していただきます。独奏曲の講習はめったにない機会です。緊張しながらも楽しみにしています。



## 正派創立二〇周年記念演奏会

石田 雅楽穂

令和元年に正派創立一〇五周年記念演奏会が開催されてから今年で七年。会員一同心待ちにしてきた正派記念演奏会が十月二十六日

(日)富山県民会館に於いて開催されました。

今回も特別ゲストとして三代目正派家元先生と、副家元先生、そして正派気鋭の弦方の先生方や尺八、打楽器の先生、また、地元都山流の先生方にテノールの澤部紀行さん、と心強い賛助出演の先生方をお迎えし、多彩なプログラムとなりました。

オープニングは、唯是震一作曲の合奏組曲「石狩川(春)」で幕は開き、七十名の大合奏で石狩川は富山平野を流れました。普通部(六歳〜高校生)の曲は副家元(奥田雅楽)の二作曲の「子供の情景・八月」。難しい曲でしたが、本番は皆一生懸命、力強く弾き、きれいにメロディーが流れて印象的でした。

フィナーレの曲は「声と器楽のための組曲(信楽狸)」で「声」はテノールの澤部さん、「器楽」は箏、十七絃、三絃、尺八、打楽器、総勢八十名の大合奏。ゲストの先生方のおかげで演奏は迫力があり聴衆の皆さんからオーケストラを聴いているようだったと、お褒めの声をいただきました。

暑い長い夏に正派会員一同、力を合わせて練習と準備を進めてまいりました。毎回リハーサルにお



「信楽狸」

付き合っていた尺八の先生方、お箏屋さん、スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。おかげさまで二〇周年演奏会、無事成功裡に終了いたしました。ありがとうございました。

## 正派創立二〇周年演奏会を終えて

高橋 雅楽佳

令和七年十月二十六日(日)富山県民会館にて、正派創立二〇周年記念演奏会「正派邦楽会北陸支部富山地区「箏曲演奏会」」が開催されました。今回の演奏会はコロナ禍を経て、富山地区として実に六年ぶりの開催となりました。三代目家元先生をはじめとして、東京から気鋭の素晴らしい先生方や、邦楽器以外にも様々な先生方に華を添えていただきました。河崎先生を中心に、幅広い年齢層の会員が一堂に会し、演奏会を開くことができたことを、たいへん嬉しく思います。

本番では、子どもたちの演奏がとても印象的でした。その姿は可愛らしさと同時に、これからの担う力強さも感じさせるもので、共に舞台上に立った私たちにとっても大きな励みとなりました。また、昇格披露として、「四季の眺」を演奏いたしました。今回の演奏会を支えてくださった全ての方々に、あらためて感謝申し上げます。邦楽の響きの豊かさや、そこに息づく人の思い、私たちが受け取ってきたこの大切な音の文化を、次の世代へと丁寧に手渡していくべきだと思います。



### 舞台裏から

鑑賞会委員長 黒川 雅皓

いつもは「是非若い方にお願ひします。」と辞退していた委員長という役職でしたが、この度は最後の御奉公(?)というつもりでお引受けしました。実は日頃の事務局長さんはじめ事務局の人達の前向きな仕事ぶりに多分に依存する気持ちもありました。

案にたがわず、何回かの役員会がありました。いつの間にか当日を迎えたような気がします。

当日は、何かあった時の責任の所在を明らかにしてほしいとの事で舞台の袖でQを出す事になりました。そしていよいよ開演の緞帳が上がりました。

プログラム一番、長唄の出演者の人達の緊張感が、下手の舞台脇にいる私にもひしひしと伝わってきました。

やがて恙なく幕が下りました。その後テキパキと素早く動く舞台監督はじめ、会館のスタッフの方々の側で、邪魔にならないかとモタモタしていた私でしたが、何よりも心に残ったのは、どの幕間も常に次のステージを念頭に入れてのスムーズな舞台転換でした。

今迄は客席で幕間が長いなど幕の上がるのをぼんやり待っていた私で



「千代の壽」

と痛感する。

### 邦楽との出会い

木本 眞知子

したが、今回は、俊敏に動かれる舞台スタッフの人達を見ているだけで、あつという間に過ぎた三時間だったように思います。正に裏方に支えられての表舞台だという事を痛感しました。

次回客席で鑑賞する時は、舞台裏で働くスタッフの方々を思い起こし、また違った意義あるひとときになると思います。

「ツーン ウウーン シヤーン」、最後にピタリと決まった。何とも言えない良い心地、合奏の醍醐味。十一月九日、邦楽鑑賞会での「千代の壽」の演奏である。どの社中も同様であるが、同鑑賞会への出演はひとつの大きな目標である。

何度も集まり合同練習を繰り返しては、心と音を合わせる。目標があるからこそ、努力できると痛感する。

### 邦楽鑑賞会に参加して

二谷 雪江

半世紀以上、箏や三絃に携わってきた方々の中で、十年程度しか取り組んでいない私が演奏できたのは、師の指導と共に演奏する先輩諸氏のおかげと感謝するばかりである。当日は、最後まで邦楽の音色に浸った。私が邦楽の響きと出会ったのは十年ほど前、小学校でも邦楽を鑑賞するだけでなく、実際に演奏することが求められるようになった。勤務校では、クラブ活動の時間に地域やボランティアの方が来校して指導にあたり、その時の箏の音色と歌声の美しさに心が震えるような感動を味わったことによる。

退職を機にあの音色を出してみたい、弾いてみたいと思い、師に入門した。まずは三絃からと購入し、現在に至っている。箏の体験はないが、十七絃が合奏に入ることでも音色に幅が出て安定すると感じた。自分もすぐに奏でてみたいと思い、始めることにした。「人生に遅すぎることはない」と言う師の言葉で決断したのである。いつか十七絃で邦楽鑑賞会で演奏できる日を楽しみにしている。

「小鍛冶」を演奏させていただきました。題名の「小鍛冶」とは実在した刀鍛冶の三条小鍛冶宗近のことです。一条天皇より太刀制作の勅命を受けましたが、相槌を打つ人がいなくて困ってしまい、稲荷大明神に祈念した所、明神が出現され相槌を勤めてくれた為「小狐丸」と

令和8年度 第70回

# 富山県邦楽協会定期総会

日時

令和8年4月5日(日)

総会 / 11:00~12:00

懇親会 / 12:00~

場所

総会 / 富山県民会館702号室

懇親会 / 富山県民会館8階

バンケットホール

会員の皆様の出席をお願いいたします。 ※返信の葉書を必ずお出ください。



公益財団法人  
生田流正派邦楽会  
北陸支部富山地区事務局

河崎 雅都美

〒933-0045 富山県高岡市本丸町4番22号  
電話 (0766) 23-5023 FAX (0766) 25-4436

長唄

# 稀音会

代表 稀音家 多祢祐

〒939-8006 富山市山室158-1 Tel・Fax.076-423-0358

「麻衣」を打つ砧を連想させて季節の秋を導き、紅葉が色づくさまと焼けた刀身の色づくさまを重ねて秋の深まりを唄っています。また、三味線では「鄙も都」は雨の音を、「初紅葉」では紅葉が静かに散る様子を表現しています。クルイの合方でルーンと弾くのはキツネの鳴き声の擬音です。

長唄は表現や言葉が難しく演奏を聴いただけで内容まで理解できることは少ないかと思えます。かくいう私も演奏することに重きを置き、表現を忘れがちです。「思うだけで違いますから」と、いつもご指導いただいております。今回の演奏会では、いかがでしたでしょうか。

鍛冶の祖で「天の座」は天国の息子とも弟子ともいわれています。「神息」は豊前の社僧で江戸亀戸天神の宝剣がその作です。

次に、打つ物づくしになります。「麻衣」を打つ砧を連想させて季節の秋を導き、紅葉が色づくさまと焼けた刀身の色づくさまを重ねて秋の深まりを唄っています。また、三味線では「鄙も都」は雨の音を、「初紅葉」では紅葉が静かに散る様子を表現しています。クルイの合方でルーンと弾くのはキツネの鳴き声の擬音です。



「小鍛冶」

「太阿」は中国の伝説上の刀鍛冶で、楚王の命で作られました。「天国・天の座」は日本の伝説上の刀鍛冶で文武天皇の御台大和にいた刀

という名剣が出来たという稲荷靈験物語です。曲の中には刀鍛冶の名前が出てきます。



令和四年度より、邦楽鑑賞会と春季演奏会のために試みていた体験コーナーに多くの体験希望者が集まるようになった。初めは箏だけの試みが、会員の理解と協力で今回は箏、三味線、鼓、尺八、琵琶の楽器が体験できるようになった。熱心に納得できるまで挑戦される方、また一人でいくつもの楽器に触れてみる方など思い思いに開演前のひと時を過ごされたようだ。開場を開演の一時

間前にして時間をゆとり取ったのも功を奏し、沢山のお客さんにお客さんにお客さんに楽しんでいただけたようだ。今後一つの特徴となり、邦楽器のファンが増えていく手助けとなると感じられる賑やかなコーナーであった。

(金盛)



### 好評の体験コーナー

●邦楽鑑賞会にて



### 花束贈呈

●邦楽鑑賞会にて

河崎雅都美会長は、昨年十二月に地域文化功労者文部科学大臣表彰を、続く本年五月には旭日

双光章を受賞されました。長い間、邦楽のために尽力されたことが広く評価されての賜物です。私たちにとつては、頼りになる親しみやすい会長です。会員一同なにかお祝いの気持ちをお伝えしたいと考え、邦楽鑑賞会の幕間にお客様からの拍手もいただいて、花束を贈呈しました。プレゼンターは、富士原文以千乃副会長にお願ひ致しました。これからもお体に十分配慮されて、優しい笑顔で当協会を、会員一同を導いていただけてすよう、心からの感謝とお祝いを申し上げます。

## 生田流箏曲宮城社 宮城会

富山地区代表 金盛 知子

〒930-0044  
富山市中央通り3丁目4-2 Tel・Fax 076-491-7637

公益社団法人

## 当道音楽会富山支部

支部長 川倉 美波瑠

〒930-0048  
富山市白銀町10番12号 Tel 076-423-0479

北陸花菱会富山支部

## 長唄杵築会

代表 杵屋 弥三貴美 (水腰貴美子)

自宅／富山市新根塚町2-4-12 Tel 076-421-8786  
お稽古場／ミヤコ楽器店内  
富山市総曲輪2-8-42 Tel 076-421-3135

公益財団法人 都山流尺八楽会

## 都山流富山県支部

支部長 東海 焯山

〒933-0837  
高岡市上北島39 Tel.0766-24-8691

会員の活動

3日 とやまごども舞台 芸術祭を終えて

小津 明璃

今年初めて参加することになり、違う学校の人も一緒に演奏するときいて、初めはとても緊張してしまいました。しかし、練習をしていくうちに少しずつ話

れもすてきたなと思いました。私ももっと上手にひけるように、きいてくれる人の心にとどくような演奏ができるように練習していこうと思えました。

14日 2025生活文化展 舞台公演

2025生活文化展舞台公演は、九月十三・十四日、富山県民会館にて開催されました。十四日の舞台公演では沢井箏曲院がトップバッターをつとめ、

沢井比河流作曲「上昇の彼方」を演奏しました。



「花の歌」

26日 錦心流琵琶富山支部 第六十回記念演奏会を終えて

嶺 瑛水

去る十月二十六日高岡市文化芸能館舞台にて、記念演奏会



「上昇の彼方」



「敦盛最期」 奏者 大野美子

を催しました。常々「世の中がかわっても残していかなければならないもの」の一つに琵琶がある。」と言われる中屋一博富山支部後援会長のプログラムの一部を紹介して、報告にかえます。

【今回の演奏会は六十回の節目であり、前田流平家詞相伝者の大野美子様による「敦盛最期」と一水会本部理事・湯河原支部長の笹本睦水様の「白虎隊」、また福井支部及び金沢支部の賛助出演等、六十回の節目をかざるに相応しい演奏会でした。

平家琵琶を鑑賞するのは初めてで、語りと撥さばきが薩摩琵琶とは全く違うのに驚きました。が、味わい深く琵琶の奥深さを感じたものでした。これに対し、笹本様の薩摩琵琶はダイナミックで情緒的で魂を鼓舞する力強い演奏でした。いずれにしても十一名の演奏は会場を埋めた聴衆を魅了した演奏会でした。」この様に手前味噌の報告になりましたが、会が成功裏に終了しほっとするとともに、六十一回に向けて気持ちを引き締めおります。

会員の活動

案内 春季邦楽演奏会

令和8年3月8日(日) アイザック小杉文化ホール

案内 第56回北日本琴古流尺八演奏会

令和8年5月24日(日)/富山能楽堂

編集委員 金盛知子 小坂智子 岡本雅楓 年代雅楽 橘龍王 稀音家 義祐 野村虚友

新入会員 正派邦楽会 山本 ふくみ

俳句・信楽狸

西田 真理子

新蕎麦の旨し信楽たぬき村 陶房の窓辺に垂るる烏瓜 萩散るや勾配緩き轆轤坂 淡々と冬桜咲き登り窯 月天心腹鼓打つ陶たぬき 行く秋の深山分け入り鹿の湯へ 炬火赤し諸手に包む楽茶碗 師と友と近江の新酒酌み交はず 甲賀より伊賀へ縦走榎紅葉 神留守の伊賀にて求む黒土鍋

十月二十六日、正派百周年記念富山地区演奏会が盛大に開催され、私も「信楽狸」等の曲に参加出演させて頂きました。又その数日後、陶芸教室「千寿窯」から滋賀方面研修旅行に参加する機会があり、旅の思い出を拙い俳句に詠ませて頂きました。

琴・三味線 和楽器専門店



今村松屋

高岡店 〒933-0026 高岡市片原町1153 ☎(0766)22-0172 富山店 〒939-8086 富山市東中野3丁目10-16 ☎(076)425-6969 金沢店 〒920-0855 金沢市武蔵町7の20 ☎(076)221-8151



小三味線 玉葉会

会主 蓼 満 葉

高岡市城東1-5-18 TEL.FAX (0766)26-1712